

■ 競技上の注意事項

< 一般的注意事項 >

1. ユニフォーム等について

- 1) 試合開始 60 分前に当該ピッチ本部テントにて、審判員立会いのもと決定する。チームは正副 2 着のユニフォーム一式（GK も含む）とメンバーを持参すること。
- 2) 対戦するチーム同士のユニフォームの色が類似している場合は、シャツ、ショーツおよびストッキングのそれぞれについて、判別しやすい組合せを審判員の判断によって決定する。
- 3) ユニフォームには選手番号がシャツ背面および前面に付けられていること。ショーツの番号については、付いていることが望ましい。
- 4) 試合に登録された選手のユニフォームが試合時にない場合には、違う番号での試合出場はできない。ユニフォームが届くまでその選手を欠いたままにするか、交代枠 1 を使って控え選手が出場するかの選択となる。
- 5) 競技者の危険となるような用具やピアス等の物を身につけてはならない。また、ミサンガ等は取り外すこと。
- 6) ストッキングのライン数等も統一すること。また、ストッキング（ソックス）の上にテープやバンテージを巻く場合、そのテープ等の色はストッキング（ソックス）の主たる色と同色とする。
- 7) 黒色等の上衣ユニフォームの使用は認めない。
- 8) 同じユニフォームであれば、長袖と半袖の混合着用を認める。
- 9) サーマル・アンダー・ショーツを着用する場合は、チームの使用するショーツの主たる色と同色であり、膝の最上部よりのものであってはならない。

2. 交代要員について

- 1) 選手交代は先発以外のエントリー選手から何名でも交代できる。ただし、一度退場した選手は再度入場することはできない。
- 2) 交代選手は第 4 の審判員席に口頭にて交代を申しで、服装等のチェックを受けて下さい。（交代用紙は使用しない）
- 3) 交代要員は、交代によって退く選手がフィールドの外に出た後、主審の合図を受けてからハーフウェイラインのところから入ること。
- 4) 各試合の登録後、試合開始（7 分前）までの時間に、ケガなど特別な理由により登録された選手が当該試合へ出場することが不可能であると、当該試合競技責任者が判断した場合のみ、エントリー内容を変更することができる。

3. ペナルティーマークからのキックについて

- 1) ペナルティーマークからのキックにより次回戦への進出を決定する場合には、主審の指示により 1 分以内であれば代表 1 人の入場を認める。その際、飲み物、薬品、衣類などの持ち込みは認めない。又、主審の許可があれば、ベンチ前のタッチライン上で飲水することができる。
- 2) ペナルティーマークからキックを行う人数は、選手数の少ない方に合わせる。

4. ベンチ内での態度

- 1) 試合中、その都度ただ一人の役員のみがテクニカルエリアに出て競技者に戦術的指示を伝えることができる。
- 2) ベンチに入っている者のメガホンの使用は許されない。

5. 競技中負傷した選手の処置と復帰

- 1) 選手がフィールド内で治療を受けることは許されない。ただし、ゴールキーパーの負傷、ゴールキーパーとフィールドプレーヤーが衝突し即座に治療が必要なとき、同じチームの競技者が衝突し即座に治療が必要なとき、更に重症と判断されたときは除く。

- 2) 主審がチーム役員 2 名の入場を許可した場合、負傷の程度を見ることと負傷者の搬出を手配することのために入場することができる。負傷した選手は、担架あるいは自分でフィールドから離れなければならない。
- 3) 大きなドクターバックはフィールド内に持ち込みができない。
- 4) 負傷してフィールドから離れた選手は、試合が再開された後にのみフィールドに復帰できる。
- 5) 主審のみが負傷した選手のフィールドへの復帰を認めることができる。

6. その他

飲み物はタッチラインおよびゴールラインから 1 m 以上離れた場所に置く（芝保護の観点から水以外は厳禁）。

<競技運営上の注意>

1. 選手確認

- 1) 競技者の選手証の確認は、試合当日の最初の試合 1 時間前のミーティング終了から試合開始 15 分前までに競技責任者によって会場本部前にて行います。選手証を持参してピッチ本部前に整列すること。試合集合は 7 分前とする。
- 2) 2 試合目以降の選手証の確認は行わない。

2. メンバー用紙

- 1) メンバー用紙は、大会エントリー表をコピーし、試合開始 60 分前のミーティングに持参し本部(当該ピッチ)の競技責任者に提出のこと。
- 2) メンバー用紙は 1 枚を自チームの控えとし、2 枚(本部、相手チーム用)を提出のこと。
- 3) 記入は先発選手に○印をつける。尚、ポジションに変更がある場合は訂正のこと。

3. ベンチ

- 1) ベンチテントの使用については、原則試合開始の 7 分前からとし、それ以前は試合に支障をきたさない場所で待機する。ただし、7 分前であっても前の試合が行われている時は、試合が終わるまで待機すること。
- 2) 使用場所はプログラムの左側に記載されているチームが本部からピッチに向かって左側のテントを使用する。
- 3) 試合終了後は運営役員の指示に従い速やかにベンチテントから退出すること。
- 4) 登録選手がビデオ撮影を行う場合はベンチ脇とし、ベンチ外での撮影は登録外の選手または観客が行うこと(登録選手がベンチ外でのビデオ撮影を行うことは認められない)。ただしベンチ外の場合、観客席側とする。

4. 試合前／中のウォーミングアップ

- 1) ウォーミングアップは、競技責任者に指定されたスペースにて行うこと。
- 2) ピッチ内でのボールを使った練習
 - ①キックオフ直前(スタメンのみ)
 - ②ハーフタイムは自チームのアップとして使用できる。次試合チームのハーフタイムでのピッチ内での練習はできません。
- 3) インプレー中の交代要員のウォーミングアップはボールを使わず、ベンチ脇でのみ認める。ただし、芝を傷めるようなウォーミングアップは行わないこと。
- 4) 第 1 試合目のチームの練習は、ピッチ内ではできません。

5. 試合前／試合終了後の握手について

- 1) 挨拶は、シェークハンドセレモニースタイルとする。
- 2) ゲーム終了後の相手チームベンチへの挨拶は行いません。
試合前／試合後にお互いの健闘を称えあうことを目的に、選手同士および審判団と

の握手を行う。握手で挨拶は終了とし、試合後の相手チームベンチへの挨拶は行わない。

6. 試合後のクーリングダウン

試合後のクーリングダウンは場所を移動して行うこと。ウォームアップ場所などの空きスペース等を使用する（試合を控えているチームのウォーミングアップを妨げないこと）。

7. その他

1) 試合開始時刻について

- ①大会2日目の2試合目以降の試合開始時刻は、PK戦がない場合は予定時刻より早まる可能性がありますので、早めに各ピッチ本部後にて待機のこと。
- ②PK戦等により試合が遅れた場合は、前試合の終了後5分後の試合開始とする。
- ③決勝トーナメントの決勝戦は試合時間の関係で、ピッチを変更して行うことがあります。

2) 開閉会式について

- ①開会式は行わない。
- ②表彰式は決勝戦終了後に行う。但し、第3位および決勝トーナメントの優秀選手の表彰は該当チームの試合終了後に行う。
- ③決勝トーナメントの各優秀選手は、第4試合終了までに各ピッチ本部へ連絡のこと。

3) 飲水について

- ①前後半のキックオフ30分前の気温が乾球温度31℃以上もしくは湿球温度24℃以上の時は、前後半開始から12分頃に飲水タイムを設けます。
- ②水以外のスポーツドリンクについては、2011年5月12日の日本サッカー理事会において「摂取」することが承認されましたが、本大会では、使用するピッチの表面を汚したり、芝生を傷めるおそれがありますので採用いたしません。

4) アディショナルタイム表示について

各試合ともアディショナルタイム表示を行う。

5) 試合球の配置について

- ①試合球は、Jチームより借用する。
- ②マルチボール方式を採用する。（1会場3個）

6) 退場処分競技者（役員）ならびに出場停止競技者（役員）の場所について

当日退場処分などにより、出場停止となった競技者はベンチ内にとどまれない。会場毎に異なるので運営役員が指定する場所に移動すること。

7) 荒天時の対応について

当日6:00の時点で荒天（雨・雪等）の場合、7:00に態度決定を行う。中止・延期の場合は、各チームへ連絡する。

8) 落雷時の対応について

- ①試合前及び試合中に、落雷の発生並びに発生の可能性がある場合は、当該試合の審判員の判断により即座に試合を中断する。但し、これについて大会本部（競技責任者他）が助言できるものとする。
- ②その後、雷活動がやんで20分後に再開する。
- ③再開または中止する場合は、次の通りとする。
 - ・前半戦途中で中断した場合は、中断時の状態から残り時間を再開する。
 - ・前半戦終了以降に中断した場合は、試合再開を行わず中断時の結果により勝敗を決す

る。但し、引き分けの場合は、協議決定する。

・再開後、会場使用予定時刻を超える恐れがある場合は、翌日に再開する。その場合、次試合も順に行う。

④日程を変更して試合を再開したことにより全大会日程までに試合を完了できない場合は抽選により勝敗を決定することがある。その場合、大会実施委員会にて決定する。

9) ゴミ処理ならびに喫煙について

①ゴミは各チーム、責任を持って持ち帰ること。

②タバコは指定の場所で喫煙のこと。

10) 組合せ以外のフレンドリー戦について

会場の都合により組合せ以外のフレンドリー戦はできません。

11) 閉門について

当施設の閉門は17時となっていますので、大会期間中は17時までには退場のこと。

<プレーに関する確認事項>

1. 笛が鳴るまではプレーを続ける

1) 主審はアドバンテージを積極的かつ的確に適用することに努めているので、選手は最後まで全力を尽くしてプレーする。

2) 最終的なオフサイドの決定は主審であるので、プレーヤー自身の判断でプレーを止めないこと。

2. 警告・退場

1) 今大会において退場を命じられた競技者は、次の1試合に出場できず、それ以降の処置については、大会の規律・フェアプレー委員会（大会規律・フェアプレー委員長、競技委員長、競技副委員長、会場責任者）で決定する。当該競技者ならびに監督は、試合終了後に行われる規律・フェアプレー委員会で事情聴取を受ける可能性があるため、大会本部近くに待機すること。

2) 今大会において、警告を2回受けた競技者は、次の1試合に出場できない。

3) 県予選に発生した退場については引き継ぐものとする。但し、本大会までの公式戦にて消化している場合は除く。